

No. 6

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-047140 ✓

(43)Date of publication of application : 21.02.1995

(51)Int.Cl.

A61N 5/00
A23L 1/16

(21)Application number : 05-194992

(71)Applicant : JIN:KK

(22)Date of filing : 05.08.1993

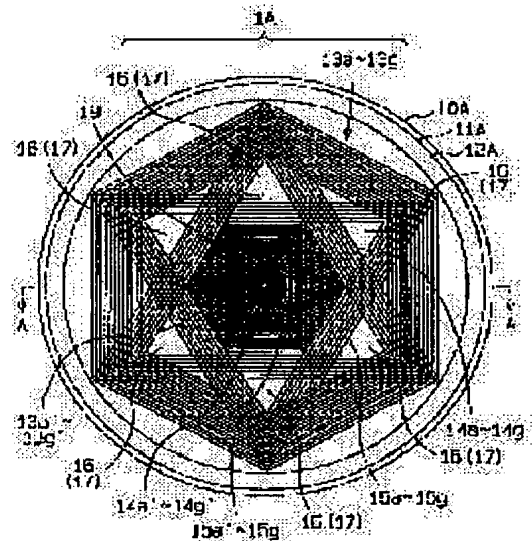
(72)Inventor : FUKUMURA KAZUO

(54) APPARATUS FOR COLLECTING COSMIC ENERGY AND METHOD THEREFOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To raise a value added in the treatment of disease, the taste of foods or the like by collecting energy existing in a cosmic space.

CONSTITUTION: A plurality of triangle coloring circular zone lines are arranged concentric on the surface of a first display plate 10A to form a group 14a-14g of first triangle coloring circular zone lines and the brightness of the coloring is reduced gradually inward from outside. Second group of triangle coloring circular zone lines 15a-15g identical to the first triangle coloring circular zone lines is formed being displaced by a phase of 60°. Moreover, gold foils 17 are provided respectively into six mini triangle areas 16 to be formed between the zone line on the outermost side and the zone line on the innermost side of both the zone line groups to form a first collector 1A.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-47140

(43)公開日 平成7年(1995)2月21日

(51)Int.Cl.⁸

A 6 1 N 5/00

A 2 3 L 1/16

識別記号

庁内整理番号

7507-4C

F I

技術表示箇所

C

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 14 頁)

(21)出願番号 特願平5-194992

(22)出願日 平成5年(1993)8月5日

(71)出願人 591110218

株式会社ジン

奈良県奈良市南京終町5

(72)発明者 福村 和男

奈良市浄言寺町287番地

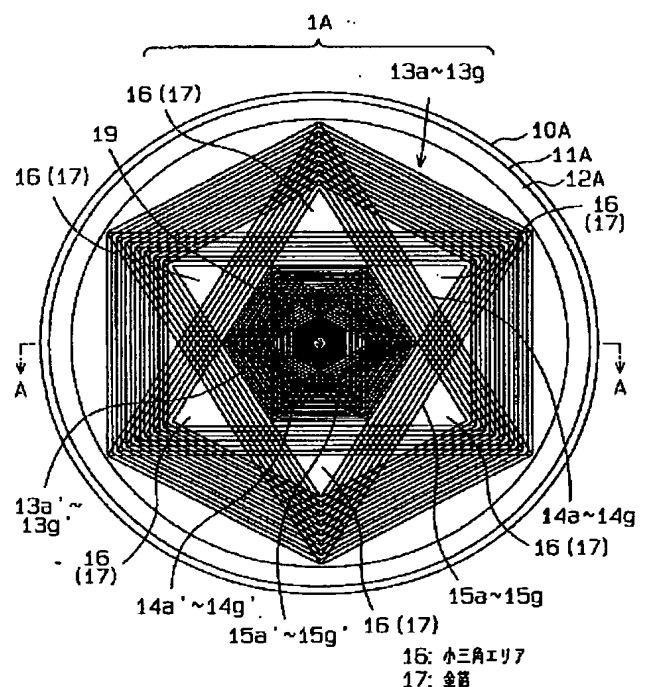
(74)代理人 弁理士 恩田 博宣

(54)【発明の名称】 宇宙エネルギー収集具及び収集方法

(57)【要約】

【目的】 宇宙空間に存在するエネルギーを収集して、病気の治療あるいは食品の味等の付加価値を高めること。

【構成】 第1表示プレート10Aの表面に対し複数本の三角着色環状帯線を同心状に形成して第1三角着色環状帯線群14a~14gを形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させる。この第1三角着色環状帯線群と同様の第2三角着色環状帯線群15a~15gを60度位相を変位して形成する。さらに前記両帯線群の最外側の帯線と最内側の帯線との間に形成される六つの小三角エリア16内にそれぞれ金箔17を施して第1収集具1Aを構成する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 表示プレート (10A) の表面に対し複数本の三角着色環状帯線を同心状に形成して第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させ、この第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) と同様の第 2 三角着色環状帯線群 (15a~15g) を 60 度位相を変位して形成し、さらに前記両三角着色環状帯線群の最外側の帯線と最内側の帯線との間に形成される六つの小三角エリア (16) 内にそれぞれ金色、銅色、鉄色、赤色、あるいは黒色等の陽性色 (17) を施して構成した第 1 収集具 (1A) と、

第 2 表示プレート (10B) の表面に対し複数本の三角着色環状帯線を同心状に形成して第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大させ、この第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) と同様の第 2 三角着色環状帯線群 (15a~15g) を 60 度位相を変位して形成し、さらに前記両三角着色環状帯線群の最外側の帯線と最内側の帯線との間に形成される六つの小三角エリア (16) 内にそれぞれ銀色、アルミニウム色、ナトリウム色、青色、あるいは白色等の陰性色 (20) を施して構成した第 2 収集具 (2A) とからなる宇宙エネルギー収集具。

【請求項 2】 請求項 1 において、前記第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) 及び第 2 三角着色環状帯線群 (15a~15g) は虹色に着色されている宇宙エネルギー収集具。

【請求項 3】 請求項 1 において、第 1 収集具 (1A) の第 1 及び第 2 の三角着色環状帯線群 (14a~14g、15a~15g) の最外側の頂点を結ぶ六角形の内側に六角着色帯線群 (13a~13g) を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させ、第 2 収集具 (2A) の第 1 及び第 2 の三角着色環状帯線群 (14a~14g、15a~15g) の最外側の頂点を結ぶ六角形の内側に六角着色帯線群 (13a~13g) を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大させたことを特徴とする宇宙エネルギー収集具。

【請求項 4】 請求項 3 において前記第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g)、第 2 三角着色環状帯線群 (15a~15g) 及び六角着色帯線群 (13a~13g) は虹色に着色されている宇宙エネルギー収集具。

【請求項 5】 第 1 表示プレート (10A) の裏面に対し星形着色環状帯線群 (22a~22g) を形成するとともに、該帯線群の最外側の頂点を結ぶ五角形の内側に五角着色帯線群 (21a~21g) を形成し、さらに前記各帯線群の着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少し、

第 2 表示プレート (10B) の裏面に対し第 1 表示プレート (10A) の裏面と同様の帯線群を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大した請求項 1~4 のいずれか 1 項に記載の宇宙エネルギー収集具。

【請求項 6】 請求項 5 において第 1 表示プレート (10A) の裏面の前記星形着色環状帯線群 (22a~22g) 及び五角着色帯線群 (21a~21g) は段階的に明度が減少する虹色に形成され、第 2 表示プレート (10B) の裏面の前記星形着色環状帯線群 (22a~22g) 及び五角着色帯線群 (21a~21g) は段階的に明度が増大する虹色に形成されている宇宙エネルギー収集具。

【請求項 7】 請求項 1 において、一つの表示プレート (10A) の表面に形成した第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) の着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させ、第 2 三角着色環状帯線群 (15a~15g) の着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大させ、両帯線群のクロス部が交互に露出するようにし、さらに前記小三角エリア (16) に陽性色 (17) と陰性色 (20) を交互に施した宇宙エネルギー収集具。

【請求項 8】 請求項 7 において第 1 三角着色環状帯線群 (14a~14g) 及び第 2 三角着色環状帯線群 (15a~15g) の中心部に両帯線を円状帯線群 (24a~24g) により互いに無端状に接続した宇宙エネルギー収集具。

【請求項 9】 請求項 1~8 のいずれか 1 において、陽性色 (17) を施した小三角エリア (16) には、永久磁石 (18A) が表面側を N 極として接合され、陰性色 (20) を施した小三角エリア (16) には、永久磁石 (18B) が表面側を S 極として接合されている宇宙エネルギー収集具。

【請求項 10】 請求項 1~9 のいずれか 1 項記載の第 1 収集具 (1A、1B、1C) と第 2 収集具 (2A、2B) を複数組み合わせる収集具群 (34) とし、それらの収集具群 (34) を三角形以上の角形の頂点にそれぞれ位置するように離隔配置し、角形内に宇宙エネルギーを収集することを特徴とする宇宙エネルギー収集方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は宇宙空間に存在する不可視のエネルギーを収集して病気の治療や水、食品等の品質を改善することができる宇宙エネルギー収集具及び方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、本願出願人は特願平 3-121502 号に示す宇宙エネルギー収集具及び装置を提案している。この宇宙エネルギー収集具は、表示プレートの表面に対し複数本の三角着色環状帯線を同心状に形成して

第1三角着色環状帯線群を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に変化させている。又、この第1三角着色環状帯線群と同様の第2三角着色環状帯線群を60度位相を変位して形成している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の宇宙エネルギー収集具は不可視のエネルギーを収集することができるが、その後の実験研究でエネルギー収集効果をさらに高めることができることが判った。

【0004】この発明の目的は宇宙空間に存在するエネルギーを効率よく収集して、病気の治療あるいは食品の味等の付加価値を一層高めることができる宇宙エネルギー収集具及び装置を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は上記目的を達成するため、第1表示プレート(10A)の表面に対し複数本の三角着色環状帯線を同心状に形成して第1三角着色環状帯線群(14a~14g)を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させ、この第1三角着色環状帯線群(14a~14g)と同様の第2三角着色環状帯線群(15a~15g)を60度位相を変位して形成し、さらに前記両三角着色環状帯線群の最外側の帯線と最内側の帯線との間に形成される六つの小三角エリア(16)内にそれぞれ金色、銅色、鉄色、赤色、黒色等の陽性色(17)を施して構成した第1収集具(1A)と、第2表示プレート(10B)の表面に対し複数本の三角着色環状帯線を同心状に形成して第1三角着色環状帯線群(14a~14g)を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大させ、この第1三角着色環状帯線群(14a~14g)と同様の第2三角着色環状帯線群(15a~15g)を60度位相を変位して形成し、さらに前記両三角着色環状帯線群の最外側の帯線と最内側の帯線との間に形成される六つの小三角エリア(16)内にそれぞれ銀色、アルミニウム色、ナトリウム色、青色、白色等の陰性色(20)を施して構成した第2収集具(2A)とにより構成している。

【0006】又、請求項2記載の発明は、請求項1において、前記第1三角着色環状帯線群(14a~14g)及び第2三角着色環状帯線群(15a~15g)を虹色に着色するという手段をとっている。

【0007】請求項3記載の発明は、請求項1において、第1収集具(1A)の第1及び第2の三角着色環状帯線群(14a~14g、15a~15g)の最外側の頂点を結ぶ六角形の内側に六角着色帯線群(13a~13g)を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させ、第2収集具(2A)の第1及び第2の三角着色環状帯線群(14a~14g、15a~15g)の最外側の頂点を結ぶ六角形の内側に六角着色帯線群(13a~13g)を形成し、その着色の明度を

外側から内側へ向かって段階的に増大させるという手段をとっている。

【0008】請求項4記載の発明は、請求項3において前記第1三角着色環状帯線群(14a~14g)、第2三角着色環状帯線群(15a~15g)及び六角着色帯線群(13a~13g)を虹色に着色するという手段をとっている。

【0009】請求項5記載の発明は、請求項1~4のいずれか1項において、第1表示プレート(10A)の裏面に対し星形着色環状帯線群(22a~22g)を形成するとともに、該帯線群の最外側の頂点を結ぶ五角形の内側に五角着色帯線群(21a~21g)を形成し、さらに前記各帯線群の着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少し、第2表示プレート(10B)の裏面に対し第1表示プレート(10A)の裏面と同様の帯線群を形成し、その着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大するという手段をとっている。

【0010】請求項6記載の発明は、請求項5において第1表示プレート(10A)の裏面の前記星形着色環状帯線群(22a~22g)及び五角着色帯線群(21a~21g)は段階的に明度が減少する虹色に形成され、第2表示プレート(10B)の裏面の前記星形着色環状帯線群(22a~22g)及び五角着色帯線群(21a~21g)を段階的に明度が増大する虹色に形成するという手段をとっている。

【0011】請求項7記載の発明は、請求項1において、一つの表示プレート(10A)の表面に形成した第1三角着色環状帯線群(14a~14g)の着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に減少させ、第2三角着色環状帯線群(15a~15g)の着色の明度を外側から内側へ向かって段階的に増大させ、両帯線群のクロス部が交互に露出するようにし、さらに前記小三角エリア(16)に陽性色(17)と陰性色(20)を交互に施すという手段をとっている。

【0012】請求項8記載の発明は、請求項7において第1三角着色環状帯線群(14a~14g)及び第2三角着色環状帯線群(15a~15g)の中心部に両帯線を円状帯線群(24a~24g)により互いに無端状に接続するという手段をとっている。

【0013】請求項9記載の発明は、請求項1~8のいずれか1において、陽性色(17)を施した小三角エリア(16)には、永久磁石(18A)が表面側をN極として接合され、陰性色(20)を施した小三角エリア(16)には、永久磁石(18B)が表面側をS極として接合するという手段をとっている。

【0014】請求項10記載の発明は、請求項1~9のいずれか1項記載の第1収集具(1A、1B、1C)と第2収集具(2A、2B)を複数組み合わせる収集具群(34)とし、それらの収集具群(34)を三角形以上の角形の頂点にそれぞれ位置するように離隔配置し、多

角形内に宇宙エネルギーを収集することを特徴とする宇宙エネルギー収集方法。

【0015】

【作用】請求項1～9記載の発明は、いずれもその上部に容器に収容した水や食品を配置しておく、第1三角着色環状帯線群、第2三角着色環状帯線群、小三角エリアの陽性色と陰性色の作用により、宇宙エネルギーが収集され、その品質が改善されることが試験により判明した。

【0016】又、請求項10記載のエネルギー収集方法は、三角形以上の多角形の頂点を結ぶ領域に宇宙エネルギーが効率よく収集されることが試験により判明した。

【0017】

【実施例】以下、請求項6記載の発明を具体化した第1実施例を図1～図6に基づいて説明する。

【0018】この実施例の宇宙エネルギー収集具は図6に示すように独立した第1収集具1Aと第2収集具2Aとから構成され、両収集具は支持テーブル3の上面に載置されている。

【0019】図1～図3に基づいて第1収集具1Aの構成を説明すると、例えば緑色のアクリル樹脂あるいは木材等よりなる円形の第1表示プレート10Aの表面には、白色紙製の円形シート11Aが接着され、このシート11Aには以下に述べる所定の模様が描かれている。前記円形シート11Aの表面外周縁には銀色の円形リング12Aが描かれている。又、円形シート11Aの表面には前記円形リング12Aの内周に接するように正六角形の帯線を同心状に描いた同心正六角着色帯線群13a～13gが形成されている。さらに、円形シート11Aの表面には前記同心正六角着色帯線群13a～13gの最外側に位置する六角着色帯線13aの6つの頂点のうち正三角形となる頂点を結ぶ三角形の内側に位置するように第1同心三角着色帯線群14a～14gを形成している。さらに前記同心正六角着色帯線群13a～13gの最外側に位置する残り3つの頂点を結ぶ三角形の内側に第2同心三角着色帯線群15a～15gを形成している。又、同心六角着色帯線群13a～13g、第1及び第2の同心三角着色帯線群14a～14g、15a～15gの着色は、外側に位置する帯線から内側に位置する帯線に向かって赤色から紫色まで七段階に変化する虹色としている。

【0020】前記第1同心三角着色帯線群14a～14gと第2同心三角着色帯線群15a～15gとの最外側及び最内側の帯線14aと15gとにより形成された小正三角エリア16には光エネルギーを反射し易い陽性色としての金箔17が接着されている。

【0021】図1に示すように前記各帯線群13a～13g、14a～14g、15a～15gの中央部に形成された六角形の内側には、前記各帯線群と相似形をなす着色帯線群13a'～13g'、14a'～14g'、

15a'～15g'が形成されている。同様にしてその内側にも相似形の着色帯線群が描かれている。さらに、前記円形シート11Aの中心には金箔19が接着されている。

【0022】前記第1表示プレート10Aの裏面には図2、3に示すように前記円形シート11Aと同様の円形シート11Bが接着されている。そして、銀色の円形リング12Bの内側には同心五角着色帯線群21a～21gが描かれている。その着色帯線群21a～21gの最外側の5つの頂点を結ぶ内側には同心状の星形着色帯線群22a～22gが描かれている。最内側の帯線22gの内側に形成された小さい五角形内には前記各着色帯線群21a～21g、22a～22gと相似形の着色帯線群21a'～21g'、22a'～22g'が形成されている。さらに、前記円形シート11Bの中央部には銀色円環帯線23が描かれ、中心には金箔19が接着されている。

【0023】又、前記同心五角着色帯線群21a～21g、21a'～21g'、同心星形着色帯線群22a～22g、22a'～22g'の着色は、外側に位置する帯線から内側に位置する帯線に向かって赤色から紫色の七段階に変化する虹色としている。

【0024】次に、第2収集具2Aの構成を図4及び図5により説明する。この第2収集具2Aは、第1収集具1Aと比較して各帯線群の着色方向、及び小三角エリア16の着色のみが異なり、その他は同様であるため、同一の構成については同一符号を付して説明を省略する。そこで、相違する点のみを説明すると、図4に示す同心正六角着色帯線群13a～13g、13a'～13g'、第1及び第2の同心三角着色帯線群14a～14g、14a'～14g'、15a～15g、15a'～15g'の着色は、外側に位置する帯線から内側に位置する帯線に向かって紫色から赤色まで七段階に変化する虹色としている。

【0025】又、図5に示す同心五角着色帯線群21a～21g、21a'～21g'、同心星形着色帯線群22a～22g、22a'～22g'の着色は、外側に位置する帯線から内側に位置する帯線に向かって紫色から赤色の七段階に変化する虹色としている。

【0026】さらに、前記六つの小三角エリア16には光エネルギーを吸収し易い陰性色としての銀箔20がそれぞれ接着されている。以上のように構成された第1及び第2の収集具1A、2Aは例えば図6に示すように、支持テーブル3の上面に載置してエネルギーの収集に使用される。

【0027】次に、第1実施例のエネルギー収集具について、その作用を説明する。図6に示す第1収集具1Aと第2収集具2Aの上部に容器に収容した水や食品を配置しておく、第1三角着色環状帯線群14a～14g、第2三角着色環状帯線群15a～15g、小三角エ

リア 16 の金色 17 と銀色 20 の協働作用により、宇宙エネルギーが収集され、その品質が改善されることが試験により判明した。

【0028】次に、請求項 6 記載の発明を具体化した第 2 実施例を図 7 に基づいて説明する。この実施例では、例えば緑色のアクリル樹脂等からなる支持板 5 の表面 5 a 及び裏面 5 b に対し第 1 実施例の第 1 収集具 1 A に使用した円形シート 11 A 及び円形シート 11 B を支持板 5 を挟むようにして接着している。又、同様に第 1 実施例の第 2 収集具 2 A に使用した円形シート 11 C 及び円形シート 11 D を支持板 5 を挟むようにして接着している。

【0029】この第 2 実施例の宇宙エネルギー収集具の作用及び効果も前記第 1 実施例と同用であるが、両プレート 1 A, 2 A が一つの支持板 5 に一体状に形成されているので、取扱いが容易となる。

【0030】次に、請求項 9 記載の発明を具体化した第 3 実施例を図 8 ～図 11 に基づいて説明する。この第 3 実施例の第 1 収集具 1 B は、前記第 1 実施例で述べた第 1 収集具 1 A の第 1 表示プレート 10 A 及び円形シート 11 A に対し、図 8, 9 に示すように各小三角エリア 16 の中央に位置するように係合凹所 16 a をそれぞれ形成している。又、各係合凹所 16 a に永久磁石 18 A をそれぞれ嵌合固定している。さらに、各永久磁石 18 A の外側は N 極となるようにしている。その他の構成は第 1 実施例と同様である。

【0031】一方、第 3 実施例の第 2 収集具 2 B は、前記第 1 実施例で述べた第 2 収集具 2 A の第 2 表示プレート 10 B 及び円形シート 11 C に対し、図 10, 11 に示すように各小三角エリア 16 の中央に位置するように係合凹所 16 a をそれぞれ形成し、各係合凹所 16 a に永久磁石 18 B をそれぞれ嵌合固定している。そして、各永久磁石 18 B の外側が S 極となるようにしている。

【0032】このように構成された第 3 実施例の収集具は、図 6 と同様に支持テーブル 3 の上面に併置して使用されるが、水の性質試験の結果、前記第 1 実施例と比較して永久磁石 18 A, 18 B を設けた分、エネルギーの収集作用が向上することが判明した。

【0033】次に、請求項 9 記載の発明を具体化した第 4 実施例を図 12 に基づいて説明する。この第 4 実施例のエネルギー収集具 9 は第 3 実施例の第 1 収集具 1 B と第 2 収集具 2 B をそれぞれ二つ使用するとともに、第 1 及び第 2 の表示プレート 10 A, 10 B に代えて共通の正形状の支持板 5 を使用している。又、第 1 収集具 1 B, 1 B と第 2 収集具 2 B, 2 B は支持板 5 の対角線上にそれぞれ位置している。

【0034】この第 4 実施例では永久磁石 18 A ～ 18 A を有する二つの第 1 収集具 1 B, 1 B と、永久磁石 18 B ～ 18 B を有する二つの第 2 収集具 2 B, 2 B を使用したので、前述した各実施例と比較して、エネルギー

の収集作用が向上することが試験の結果判明した。

【0035】次に、請求項 9 記載の発明を具体化した第 5 実施例を図 13 及び図 14 に基づいて説明する。第 5 実施例の第 1 収集具 1 C は、図 13 に示すように第 3 実施例の第 1 収集具 1 B において、第 1 及び第 2 の同心三角着色帯線群 14 a' ～ 14 g'、15 a' ～ 15 g' の内側に菊花模様 25 をそれぞれ描いている。又、図 14 に示すように、同心星形着色帯線群 22 a' ～ 22 g' の内側にも菊花模様 25 を描いている。第 1 収集具 1 C のその他の構成は第 1 収集具 1 B と同様である。

【0036】一方、第 1 収集具 1 C と対の第 2 収集具 2 C も図示しないが、第 1 収集具 1 C と同様に円形シートの中心部を菊花模様に変えている。この第 5 実施例では金箔 19 に代えて菊花模様としたが、試験の結果、第 3 実施例と同様のエネルギーの収集作用があることが判明した。

【0037】次に、請求項 7 記載の発明を具体化した第 6 実施例を図 15 及び図 16 に基づいて説明する。この第 6 実施例のエネルギー収集具 6 は、前述した二つの別体の収集具を合体して簡略化したものである。すなわち、図 15 に示すように第 1 同心三角着色帯線群 14 a ～ 14 g 及び第 2 同心三角着色帯線群 15 a ～ 15 g をクロス部において一方が他方に交互に隠れるようにしている。又、内側に描いた両帯線群 14 a' ～ 14 g'、15 a' ～ 15 g' も同様にクロス部において一方が他方に交互に隠れるようにしている。第 1 同心三角着色帯線群 14 a ～ 14 g、14 a' ～ 14 g' の着色は、外側に位置する帯線から内側に位置する帯線に向かって赤色から紫色まで七段階に変化する虹色としている。反対に、第 2 同心三角着色帯線群 15 a ～ 15 g、15 a' ～ 15 g' の着色は、外側に位置する帯線から内側に位置する帯線に向かって紫色から赤色まで七段階に変化する虹色としている。

【0038】さらに、六つの小三角エリア 16 のうち最上部のエリア 16 には銀箔 20 が接着され、この隣のエリア 16 には金箔 17 が施されて、以下各エリア 16 には銀箔 20 と金箔 17 が交互に施されている。両帯線群 14 a' ～ 14 g'、15 a' ～ 15 g' により形成された小三角エリアにも同様に銀箔 20 と金箔 17 が交互に施されている。

【0039】さらに、第 6 実施例では前記外側の六つの小三角エリア 16 には永久磁石 18 A, 18 B が交互に止着されている。さらに、エネルギー収集具 6 の裏面は、図 16 に示すように銀色の円形リング 12 B の内側にライトグリーンの六角帯線 29 a が描かれている。又、この六角帯線 29 a の内側には同様にライトグリーンの星形帯線 29 b が描かれている。さらに、その内側には金箔 19 が施されている。

【0040】この第 6 実施例のエネルギー収集具も前記第 3 実施例の収集具と同様のエネルギーの収集作用があ

ることが判明した。次に、請求項 8 記載の発明を具体化した第 7 実施例を図 17 に基づいて説明する。

【0041】この第 7 実施例のエネルギー収集具 7 は、第 6 実施例の収集具 6 において、両帯線群 14a' ~ 14g'、15a' ~ 15g' 及び永久磁石 18A、18B を省略している。又、第 1 同心三角着色帯線群 14a ~ 14g 及び第 2 同心三角着色帯線群 15a ~ 15g の平行な二辺を爪状帯線群 24a ~ 24g により無端状に接続している。その他の構成は前記第 6 実施例と同様である。

【0042】この第 7 実施例のエネルギー収集具 7 も前記第 6 実施例の収集具と同様のエネルギーの収集作用があることが判明した。次に、前記実施例の収集具を使用して構成されたエネルギー収集装置を具体化した第 8 実施例を図 18 に基づいて説明する。

【0043】第 4 実施例の収集具の支持板 5 の中央上面には回転支持装置を構成する正逆回転可能なモータ 26 が取り付けられ、さらにモータ 26 の回転軸 27 上端には円形の支持テーブル 28 が回転可能に支持されている。この支持テーブル 28 の上面には第 7 実施例で述べたエネルギー収集具 7 が載置されている。この収集具 7 に代えてエネルギー収集具 6 を使用してもよい。

【0044】図 18 に示すエネルギー収集具を覆うように図示しない椅子を配置して、その座席を収集具 7 の上方に位置させる。そして、椅子に腰掛けた状態でモータ 26 の回転軸 27 によりテーブル 28 及び収集具 7 を回転し、10 ~ 20 分経過すると、精神状態が安定するとともに、腰痛や捻挫などの患部がある場合にはその治療効果が見られる。これは前記各収集具 1B、2B、7 により宇宙空間に存在するエネルギーが収集され患部に供給されるためであると考えられる。

【0045】ところで、この装置を使用する際、図 19 に示すような金属製の収集プレート 30 を使用すると、治療効果が一層顕著となる。前記収集プレート 30 は、外側の金属枠体 31 を純銀製とし、内側の金属枠体 32 を純金製とし、さらに該金属枠体 32 の内側に六角形の水晶又は金 33 を嵌合している。そして、この収集プレート 30 を身体の患部に当てて、図 18 に示す収集装置を使用すると、治療効果が非常に高まることが判った。これは収集装置とプレート 30 との間の共鳴現象により身体

の気道にエネルギーが通い易くなるためであると推測される。

【0046】又、前述した収集装置は脳波の一種である θ 波を増幅させ、人間の意識下の能力に働きかけて精神コントロール、すなわちリラックスした平静な心身の状態を保たせ、愛情や幸福を得やすい状態となり、美德や公德心を増長させ得るものである。又、上記収集装置は水や飲食物の容器を上方に配置することにより、その味等の品質を改良する作用がある。

【0047】ところで、前記実施例のエネルギー収集装

置を使用して処理したソウメンと無処理のソウメンの二種類について、大阪市立工業試験所において走査電子顕微鏡写真による判定を行った結果、次のようになった。なお、測定に使用した装置は日本電子株式会社製の FX-90Q 型、測定条件は加速電圧が 25KV、検出像は二次電子像、倍率は約 400 倍と 1500 倍、資料調整としてソウメンの表面を金イオンスパッタコーティングして観察に供した。

【0048】市販品そのままのソウメンの走査電子顕微鏡写真においては、粒子の表面に付着している塩分量が少ないとソウメンができないのに対し、本発明の収集装置で処理したソウメンは、粒子の表面に付着している塩分量が少なく、湯で上がりの際の透明度が高く、しかも澱粉自体の粘りが強くなるので、腰のある折れ難いものとなつた。以上の理由からソウメンの味が改善されるものと推測される。

【0049】次に、エネルギー収集装置を具体化した第 9 実施例を図 20 に基づいて説明する。この実施例では第 4 実施例に示す収集具 9 をボックスタイプの椅子 35 により覆い、該椅子 35 の側面から支柱 36 を立設し、両支柱の上端部に支持テーブル 37 を介して第 1、2 の収集具 1A、2A を支持している。

【0050】この第 9 実施例では人体の頭部上方に第 1、2 の収集具 1A、2A があるため、さらに治療効果がみられる。この収集具 1A、2A に代えて、収集具 6、7、9 等を使用してもよい。

【0051】次に、請求項 10 記載の収集方法を具体化した実施例を説明する。図 21 ~ 図 24 に基づいて、前述したエネルギー収集具 1A、1B、9 を使用して、エネルギーを収集する方法を説明する。

【0052】図 21 は二枚の前記第 1 収集具 1A と二枚の第 2 収集具 2A を組み合わせたものである。この計 4 枚の収集具を一群とし、この収集具群 34 を図 22

(a) に示すように三角形の頂点に位置するように配置する。又、同図 (b) に示すように三角形の中心にも配置する。さらに、同図 (c) に示すように前記収集具群 34 を六角形の各頂点に位置するように配置したり、同図 (d) に示すように、六角形の中心にも配置してもよい。

【0053】図 21 (a) ~ (d) に示す配置例は、いずれも三角形又は六角形の内部にエネルギーが強く収集されることが判った。図 23 は第 3 実施例 (図 12) で使用したエネルギー収集具 9 を三角形の頂点に位置するように配置している。又、図 24 (a) は三角形の中心部に前記収集具群 34 を配置している。さらに、同図 (b) は三角形の中心に収集具 9 を配置している。さらに、同図 (c) ~ (e) に示すように配置してもよい。

【0054】図 23 及び図 24 (a) ~ (d) に示す配置例は、いずれも三角形又は六角形の内部にエネルギーが強く収集されることが判った。次に、前記第 1、2 収

集具 1 A, 2 A 及びエネルギー収集具 6 等を使用した収集装置を図 2 5 及び図 2 6 に基づいて説明する。

【0055】この収集装置は円錐筒状の透明な第 1 ケース 4 1 の底板 4 2 の上面には前記第 1, 2 収集具 1 A, 2 A が図 2 6 に示すようにそれぞれ二枚配置されている。第 1 ケース 4 1 の内部中間にはブラケット 4 3 を介して円環状の蛍光ランプ 4 4 が支持されている。前記ケース 4 1 の上端縁には円錐筒状の透明な第 2 ケース 4 5 が取り外し可能に載置されている。両ケース 4 1, 4 5 には複数個所に換気孔 4 1 a, 4 5 a が形成されている。前記第 2 ケース 4 5 の底板 4 6 にはモータ 4 7 が支持され、その回転軸には回転テーブル 4 8 が取り付けられている。このテーブル 4 8 の上面には前記エネルギー収集具 6 が水平に取り付けられている。さらに、前記モータ 4 7 には回転羽根 4 9 が装着されている。前記底板 4 6 の下面にはモータ 4 7 及び羽根 4 9 を下方から覆うカバー 5 0 が取り付けられ、この側壁面には複数の通気孔 5 0 a が形成されている。

【0056】前記第 2 ケース 4 5 の上部には支持板 5 1 により水銀灯 5 2 が支持されている。又、第 2 ケース 4 5 の上端部には水晶よりなる宝珠 5 3 が取り付けられている。

【0057】上記のように構成したエネルギー収集装置は、蛍光ランプ 4 4 及び水銀灯 5 2 を点灯するとともに、モータ 4 7 を駆動した回転テーブル 4 8 を回転して、収集具 6 を回転すると、宇宙エネルギーが効率良く収集される。又、モータ 4 7 の駆動により羽根 4 9 が回転されると、第 2 ケース 4 5 内の空気がカバー 5 0 の通気孔 5 0 a から第 1 ケース 4 1 内に送られる。

【0058】次に、図 2 7 によりエネルギー収集装置の別例を説明する。この装置は寝台 5 5 の下部に図 2 0 で説明した椅子 3 5 を案内レール 5 6 に沿って水平方向に移動可能に配設している。又、寝台 5 5 の上方には図 2 5 で述べた収集装置が支持アーム 5 7 により支持されている。

【0059】この装置は身体の病気の治療効果が顕著になることが分かった。なお、この発明は前記実施例に限定されるものではなく、次のように具体化することもできる。

【0060】(1) 円形シート 1 1 A ~ 1 0 D を透明の樹脂シートで包装したものを支持板 5 に接着すること。

(2) 第 1 収集具 1 A, 1 B, 1 C 及び第 2 収集具 2 A, 2 B の裏面側の円形シート 1 1 B, 1 1 D を省略すること。

【0061】(3) 各帯線群の着色を虹色以外に明度が段階的に変化する他の着色に変更すること。

(4) 図 1 5, 1 6 に示すエネルギー収集具 6 又は図 1 7 に示すエネルギー収集具 7 を単独又は複数群として図 2 1 ~ 2 4 のように配置してエネルギーを収集すること。

【0062】(5) 図 2 8 に示すエネルギー収集具は、外側から順に赤色、黄色及び青色に変化する帯線群 6 1 a ~ 6 1 c と、外側から順に青色、黄色及び赤色に変化する帯線群 6 2 a ~ 6 2 c とが描かれている。又、両帯線群の内側に環状の金箔リング 6 3 が描かれ、その内側に前記六角帯線 2 9 a 及び星形帯線 2 9 b が描かれている。

【0063】(6) 図 2 9 に示す収集具は、円形シート 1 1 A に対しアルミニウム箔の六角リングと二つの三角リングの組み合わせ図形 6 5 を描いている。又、その内部には図形 6 5 と相似形の銅箔よりなる図形 6 6 を描き、その内側に銀箔よりなる図形 6 6 と相似形の図形 6 7 を描いている。さらに、図形 6 7 の内部には金箔 6 8 が設けられ、その中心に水晶 3 3 が装着されている。図形 6 5 の正三角エリア 1 6 には銀箔 2 0 が、図形 6 6 の正三角エリア 1 6 には金箔 1 9 がそれぞれ貼着されている。

【0064】この別の実施例においてもエネルギーの収集が可能である。

(7) 図 1 ~ 3 に示す第 1 収集具 1 A の表裏両面中心部に施した金箔 1 9, 1 9 に代えて、図示しないが白色を施し、図 4, 5 に示す第 2 収集具 2 A の表裏両面中心部に施した金箔 1 9, 1 9 に代えて、白色を施すこと。同様に前記収集具 1 B の中心部の金箔 1 9 に代えて、白色を施し、収集具 2 B の中心部の金箔 1 9 に代えて、白色を施すこと。

【0065】(8) 前述した第 5 実施例の図 1 3, 1 4 に示す収集具 1 C の中心部の菊花模様 2 5 を図示しないが白色とし、同様に収集具 1 C と対の収集具 2 C の中心部の菊花模様を白色とすること。

【0066】(9) 前述した第 6 実施例の図 1 5, 1 6 に示す収集具 6 の中心部の菊花模様 2 5 に代えて、図 3 0 に示すように白の三角模様 7 1 と、黒の三角模様 7 2 を交互に径 6 ヲ所に形成すること。

【0067】上述した (7) ~ (9) に示す別例は、いづれもエネルギーの収集効果が高いことが判った。

(10) 前述した実施例において、金箔 1 7 に代えて陽性色としての銅箔、鉄箔、あるいは赤色等を使用し、銀箔 2 0 に代えて陰性色としてのアルミニウム箔、金属ナトリウム箔、あるいは青色等を使用すること。

【0068】

【発明の効果】以上詳述したように、この発明は宇宙空間に存在するエネルギーを収集して、病気の治療あるいは食品の味等の付加価値を高めることができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】この発明を具体化した第 1 実施例における第 1 収集具を示す正面図である。

【図 2】図 1 の A-A 線断面図である。

【図 3】第 1 実施例における第 1 収集具の裏面図であ

る。

【図 4】第 1 実施例における第 2 収集具の正面図である。

【図 5】第 1 実施例における第 2 収集具の裏面図である。

【図 6】第 1 実施例における収集具の使用状態を示す斜視図である。

【図 7】第 2 実施例の収集具の斜視図である。

【図 8】第 3 実施例における第 1 収集具の正面図である。

【図 9】図 8 の B-B 線断面図である。

【図 10】第 3 実施例における第 2 収集具の正面図である。

【図 11】図 10 の C-C 線断面図である。

【図 12】第 4 実施例の収集具の斜視図である。

【図 13】第 5 実施例における第 1 収集具の正面図である。

【図 14】第 5 実施例における第 1 収集具の裏面図である。

【図 15】第 6 実施例の収集具の正面図である。

【図 16】第 6 実施例の収集具の裏面図である。

【図 17】第 7 実施例の収集具の正面図である。

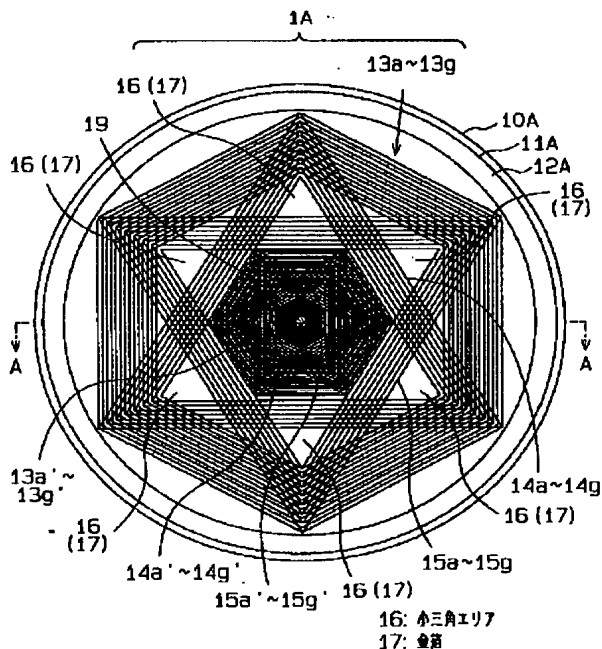
【図 18】第 8 実施例における収集装置の斜視図である。

【図 19】金属収集プレートの正面図である。

【図 20】第 9 実施例における収集装置の斜視図である。

【図 21】エネルギー収集方法に使用される収集具群の*

【図 1】



* 正面図である。

【図 22】(a) ~ (d) はそれぞれエネルギー収集方法を示す平面図である。

【図 23】エネルギー収集方法を示す平面図である。

【図 24】(a) ~ (e) はそれぞれエネルギー収集方法を示す平面図である。

【図 25】エネルギー収集装置の別例を示す縦断面図である。

【図 26】図 25 の D-D 線断面図である。

10 【図 27】エネルギー収集装置の別例を示す正面図である。

【図 28】エネルギー収集具の別例を示す正面図である。

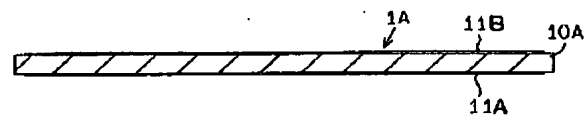
【図 29】エネルギー収集具の別例を示す正面図である。

【図 30】エネルギー収集具の別例を示す正面図である。

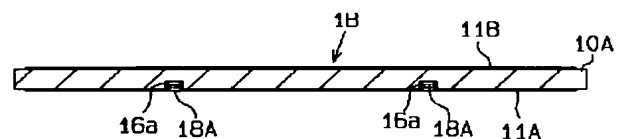
【符号の説明】

1A ~ 1C...第 1 収集具、2A ~ 2B...第 2 収集具、5 支持板、6, 7, 9...収集具、10A, 10B...第 1 及び第 2 の表示プレート、11A ~ 11D...円形シート、13a ~ 13g...同心正六角着色帯線群、14a ~ 14g...第 1 同心三角着色帯線群、15a ~ 15g...第 2 同心三角着色帯線群、16...小三角エリア、17...金箔、18A, 18B...永久磁石、20...銀箔、21a ~ 21g...同心五角着色帯線群、22a ~ 22g...同心星形着色帯線群、24a ~ 24g...凹状帯線群、26...モータ、28...支持テーブル、34...収集具群。

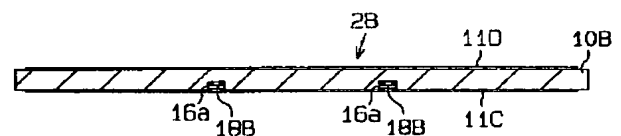
【図 2】



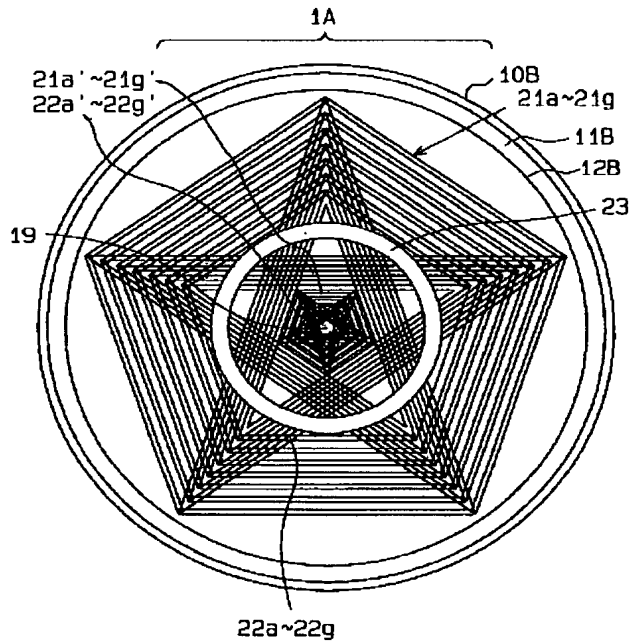
【図 9】



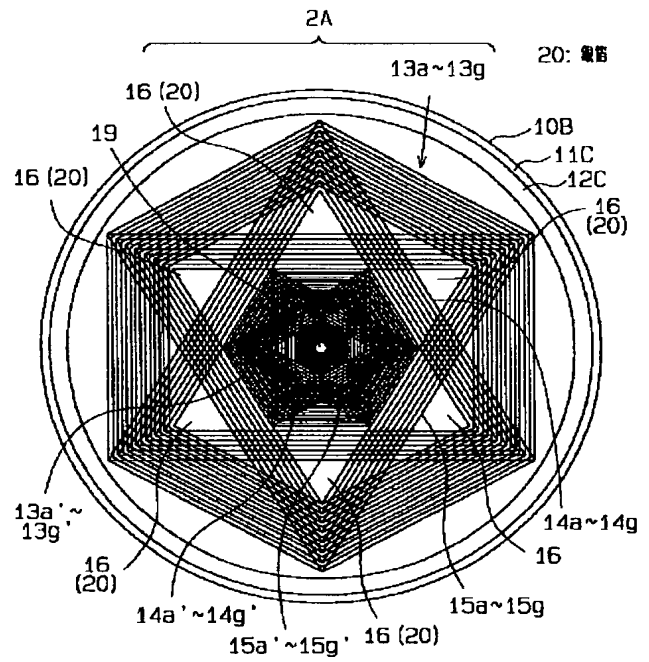
【図 11】



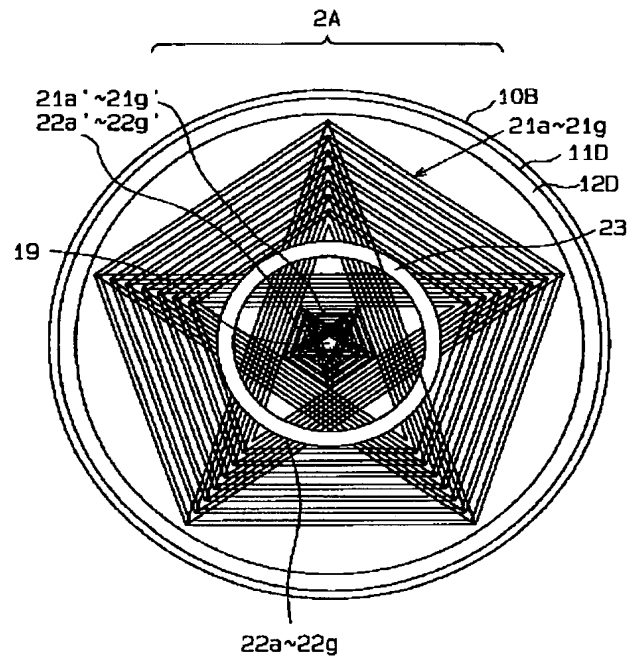
【図 3】



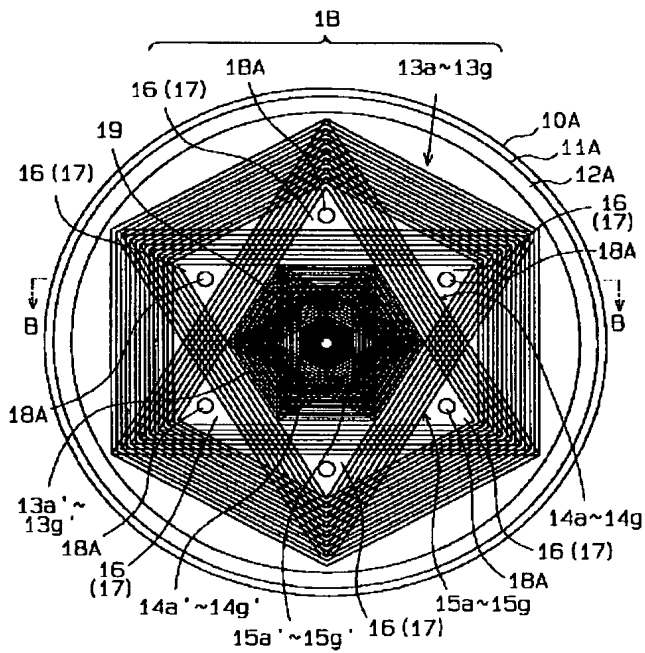
【図 4】



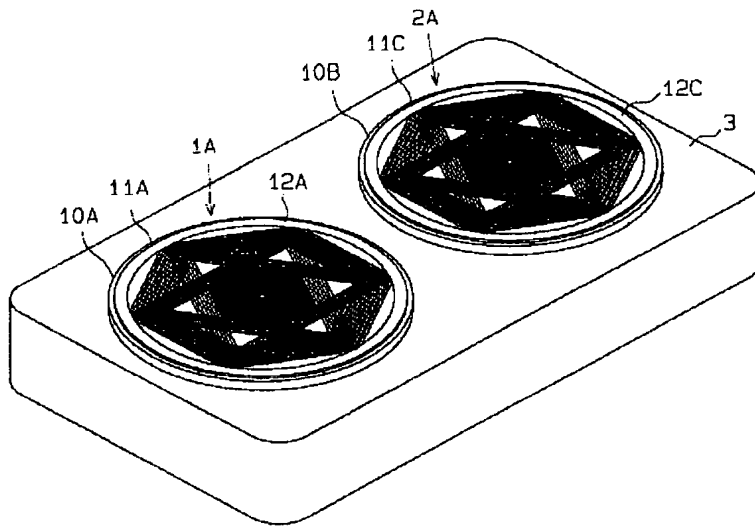
【図 5】



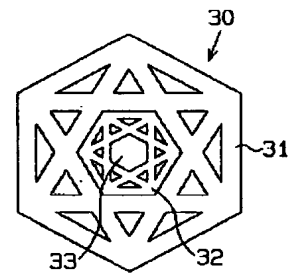
【図 8】



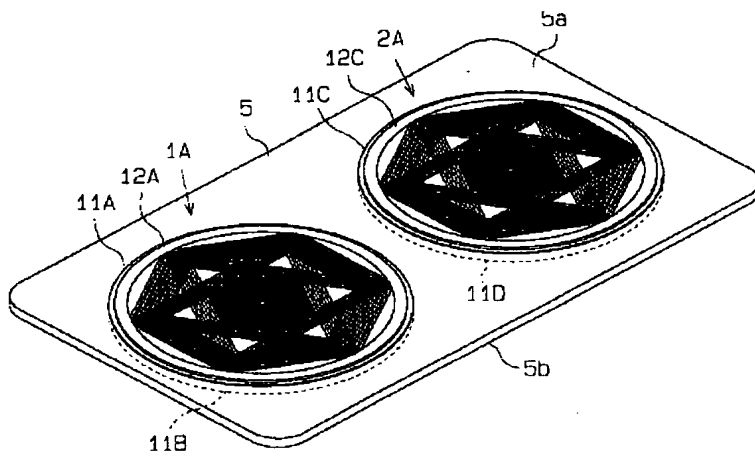
【図 6】



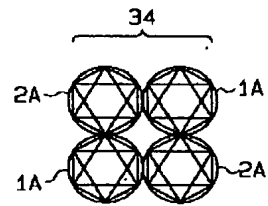
【図 19】



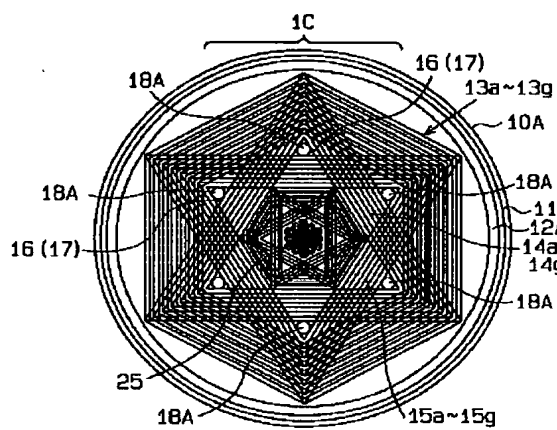
【図 7】



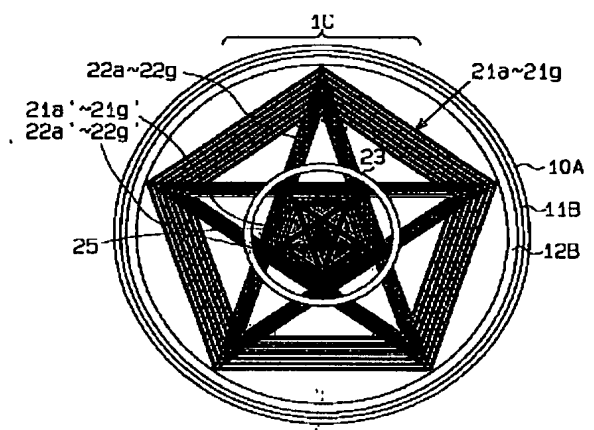
【図 21】



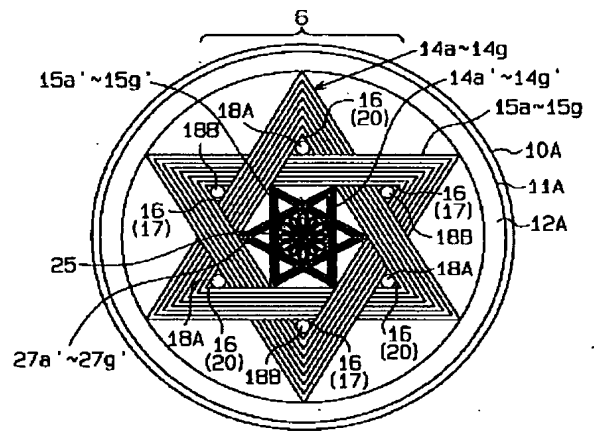
【図 13】



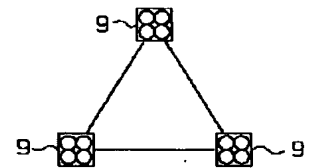
【図 14】



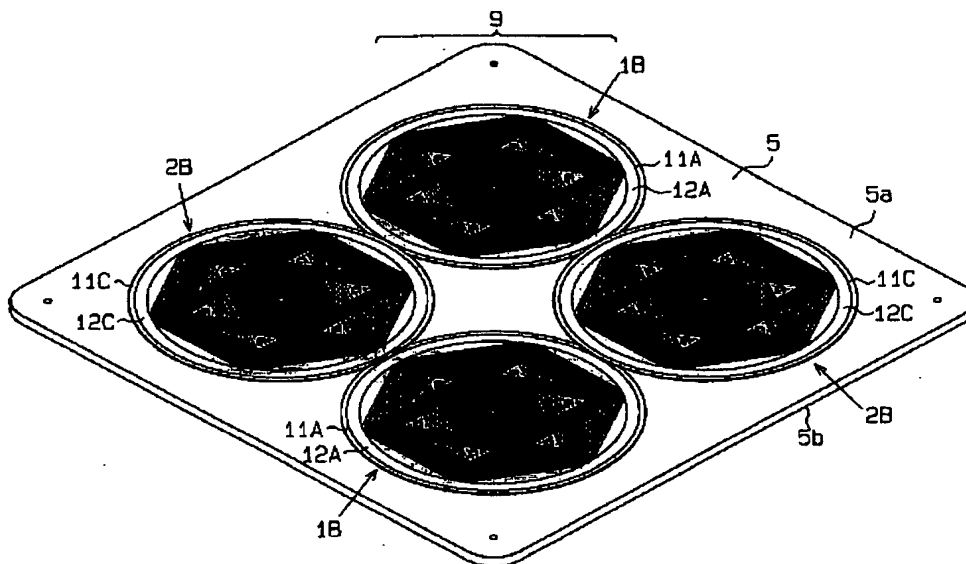
【図 15】



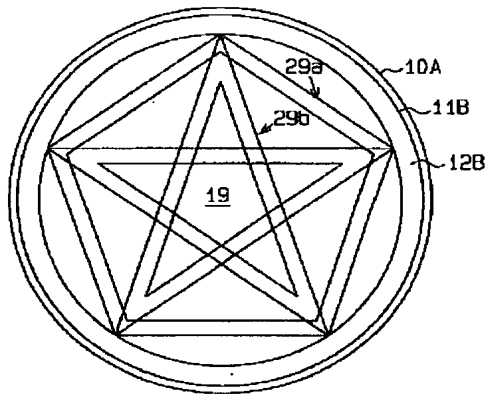
【図 23】



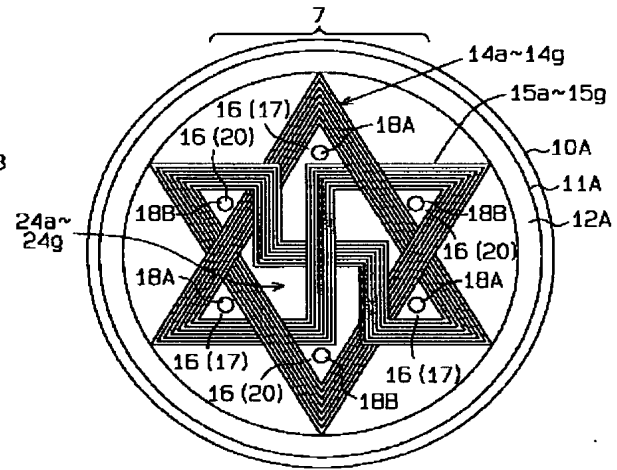
【图 12】



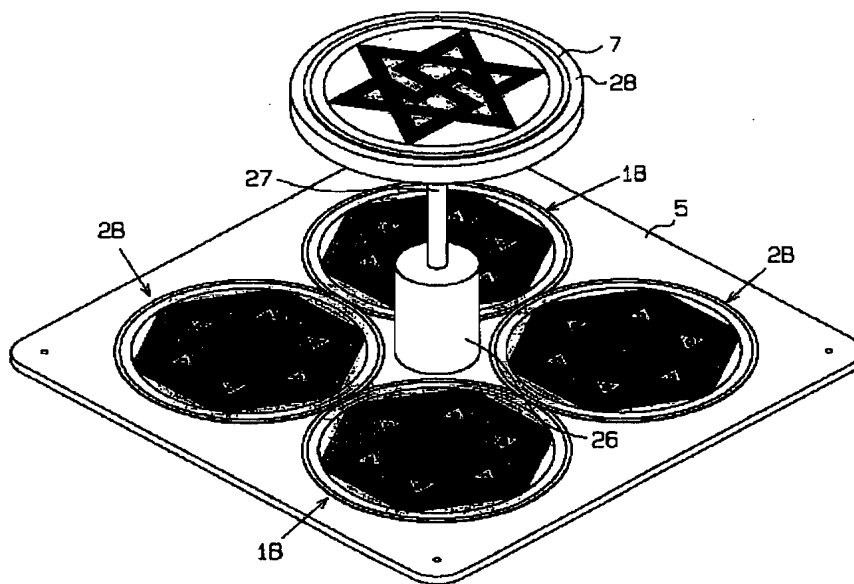
【図16】



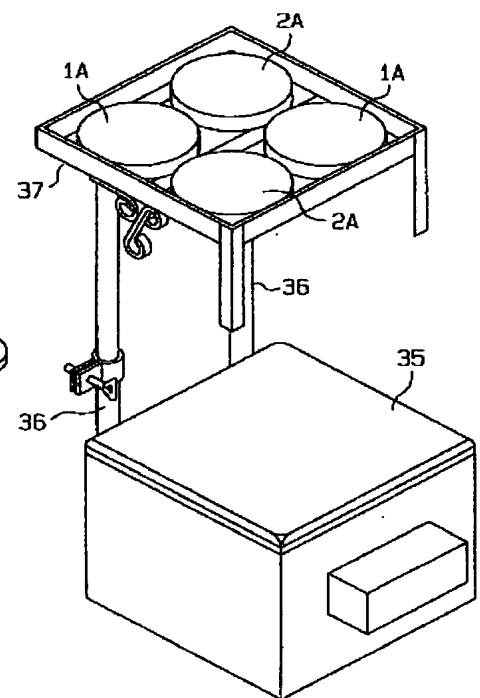
【図17】



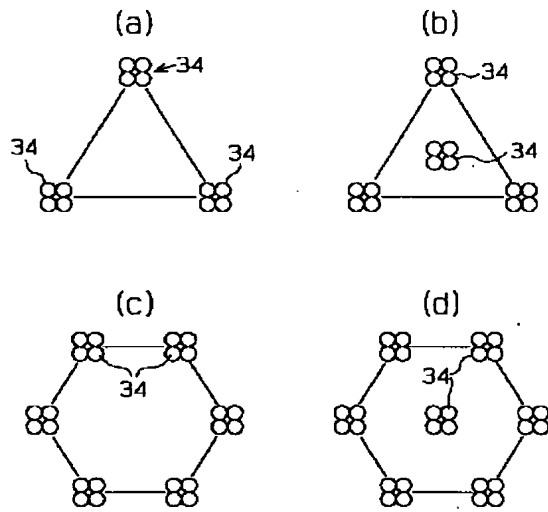
【図18】



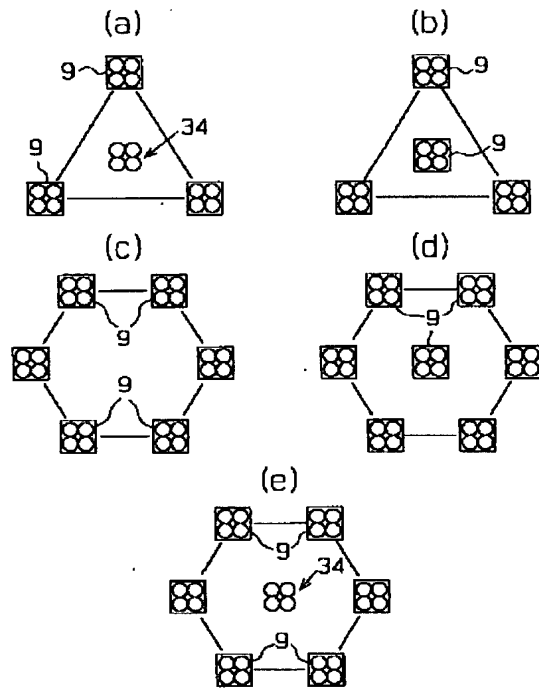
【図20】



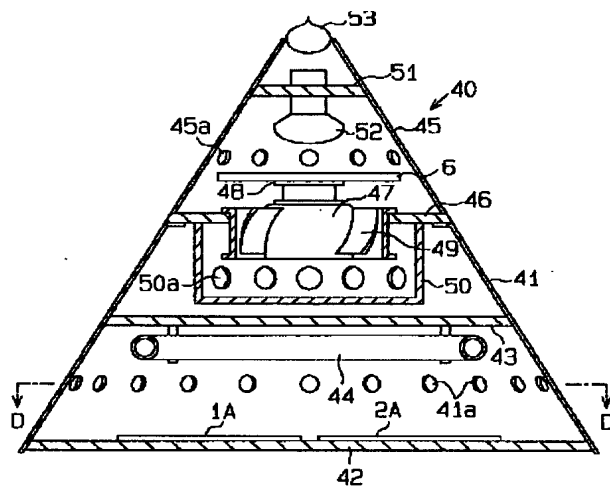
【図 2 2】



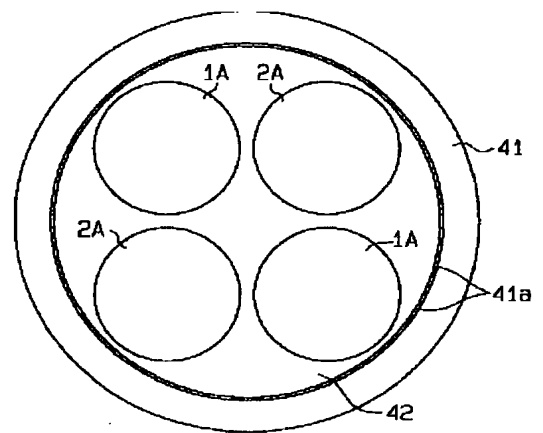
【図 2 4】



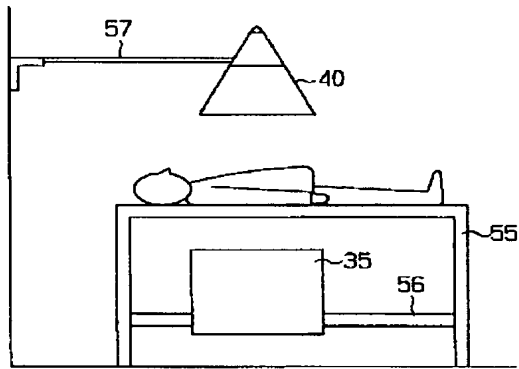
【図 2 5】



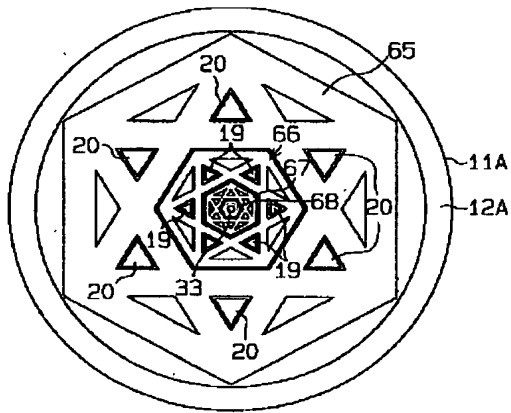
【図 2 6】



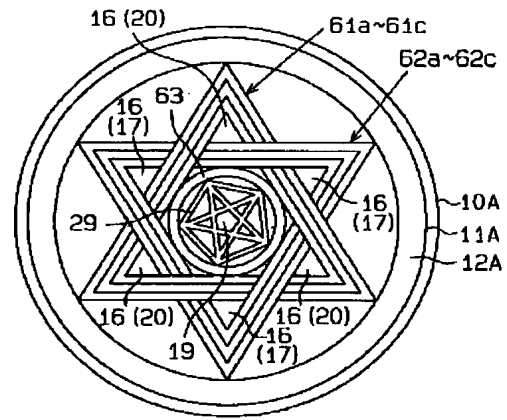
【図 27】



【図 29】



【図 28】



【図 30】

